

No.	110-040	事務事業名	朝読み・夕読み活動推進事業	所属部	総務部
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあまちづくり	所属課	総務課
	施策名	0 2	青少年の健全育成	課長名	宗像 成昭
	基本事業名	0 1	体験と学びを支援する環境づくり	所属G(係)	市民運動推進室
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
子供たちの読書離れを防ぐため、地域で行う朝読み夕読み活動の環境づくりを支援する事業。 地域子ども朝読み夕読み実践推進会への支援(新町、向花、府中、野口、上小川地区への助言及び経費の助成)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 50 年代 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 朝読み夕読み参加団体数	団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	地域子ども朝読み夕読み実践推進会	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 朝読み夕読み推進団体数	団体
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	子ども達の活字離れを防ぎ、読書活動を推進する。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 参加した団体の割合	%
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	霧島市の豊かな自然環境の中で様々な体験活動ができる。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	50	50	50	100	
	事業費計(A)	千円	50	50	50	100		
活動指標	ア	団体	5	5	5	10		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	団体	14	14	14	14		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	%	35.71	35.71	35.71	71.4		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%			93	90		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
子ども達の読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造性を豊かなものにし、人生をより深く生き抜く力を身につけていく上で欠くことのできないものであるため、昭和50年代に国分の新町・向花・府中・野口・上小川地区で開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
輪番制を組み、各公民館施設で公民館放送等を利用している。推進する地域が増加していない。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
家庭での子どもたちの読書離れが進んでおり、地区自治公民館での朝読み夕読み活動により活字離れが減少するとの意見が家庭から寄せられている。	

事務事業名	朝読み・夕読み活動推進事業	所属部	総務部	所属課	総務課																										
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	子どもたちの読書離れを防ぎ、地域で行う朝読み夕読み活動の環境づくりを推進するため、地域の子も朝読み夕読み活動実践推進会を支援することは、体験と学びを支援する環境づくりに結びついている。																													
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	地域で行われている朝読み夕読み活動の環境づくりを推進することは、子どもたちの読書離れを防ぐこととなり、体験と学びを支援する環境づくりを促進するもので、目的として妥当である。																														
<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	現在のところ新町、向花、府中、野口、上小川の5地区が推進している事業であるが、他の地区でも希望する団体が出てくれば望ましいことである。意図としては、子どもたちの活字離れを防ぎ、読書活動を推進することとしており、妥当である。																														
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	現在5地区が取り組んでいる事業である。取り組む地区が増えることにより、成果が向上する。																													
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	地域で朝読み夕読み活動を推進する団体が減少し、子どもたちの活字離れが進む恐れがある。																														
<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 市立図書館が推進する読書活動 <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	市立図書館が推進する読書活動との連携が可能ではないかと思われる。  <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	朝読み夕読み活動を推進するために最低限必要な消耗品代の支援であり、削減の余地はない。																													
<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	市としての事務は、申請の処理と委託経費の支払である。業務時間はわずかであり、これ以上の削減余地はない。																														
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	受益機会については、現在は5地区への支援に留まっているが、実施希望の団体があれば支援を行う態勢をとっているため、公平。 受益者負担については、市からの支援は事業実施に最低限必要な消耗品代の支援としており、経費の大部分は朝読み夕読み推進団体の負担となっているため、適正なものである。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			今後、事業の展開を図るには、市立図書館が推進する読書活動との連携を図ることが必要となる。また、推進団体の増加が不可欠である。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可				(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																															

No.	1240-010	事務事業名	青少年少女県外交流事業(植木町)				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	02	青少年の健全育成				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	01	体験と学びを支援する環境づくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	一般	100602	153025	事業名	青少年健全育成	法令根拠	社会教育法第20条 22条

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
熊本県植木町との交流学习。隔年で受入・派遣交流を行っている。昨年度は、霧島市で受け入れた。今年度は、当市内での活動で、2泊3日で小学4～6年生20名を対象に体験活動やキャンプ等を行う予定。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 61 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 植木町訪問、企業見学、田原坂見学と献花、遺跡発掘作業体験		ア	実施回数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 乗馬体験、海水浴、野外炊飯、星空観察、キャンプファイヤー等		イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市内小学4～6年生		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 他県(熊本県植木町)との交流を深めることで、それぞれの市町の特徴を理解し、それぞれのよさを認識できる。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 青少年の健全育成及び他の地域との交流		ア	小学4～6年生
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア	参加者数
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア	体験活動プログラムに参加した児童・生徒の満足度
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円			60			
		一般財源	千円	454	230	296	411		
	事業費計(A)	千円	454	230	356	411			
活動指標		ア	回	1	1	1	1		
対象指標		ア	人	1,127	4,109	4,013	4,103		
成果指標		ア	人	24	20	21	20		
上位成果指標		ア	%	未把握	90	90	90		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 昭和61年、旧隼人町と熊本県植木町との間で青少年を対象とした交流が開始。昭和63年に正式に「青少年交流の町盟約」を交わす。ホームステイや体験活動等を通して交流をしている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 19年度以降、対象者を隼人地区から霧島市全体の小学4～6年生に変更。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	青少年少女県外交流事業(植木町)	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 他県の児童との交流活動を通して、次代を担う健全な青少年の育成につながっており、結果につながっている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 他県の児童・生徒との交流と各種体験活動は、次代を担う青少年にとって有意義なものである。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 熊本県植木町と協議の上、現在の定員20名が適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 参加前と比較して、参加者の成長を確認できる。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 対象者の他県での活動の場なくなる。ただし、植木町は熊本市との合併を控えており、合併後の本事業の取り扱いの一部不透明である。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 現在でも、地域住民や他の行政機関の協力を頂いており、これ以上の削減余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) これまで事前研修・事後研修を行い、植木町及び当市の概況について参加者の理解を深めてきたが、その内容を精査し、早めに集合させることで事前研修を省くなどして業務時間を削減することが可能。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 対象者全員に、案内チラシを配布し、安全性や物理的な問題を考慮し、最大の希望者を受け入れている。また、受益者からは保険料や食費等の負担金を徴収している。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	これまでの事業を継続しながら、事前研修・事後研修の準備及び実施を省略することで、職員の延べ業務時間を削減し、効率性を向上させる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 本市のみで成立する事業ではなく、あくまで青少年交流の盟約を締結した熊本県植木町の意向も尊重する必要がある。  
 なお、相手町は熊本市との合併について調整を続けており、その動向について注視する必要がある。

No.	1240-020	事務事業名	日本ボーイスカウト鹿児島連盟始良第二団育成指導事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	0 2	青少年の健全育成				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	0 1	体験と学びを支援する環境づくり				電話番号	42-1118

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	1	0	0	6	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
青少年の国際友愛精神の増進を図り、健全育成に資することを目的とする日本ボーイスカウト連盟の始良第二団に運営費補助として補助金を交付している。 <日本ボーイスカウト鹿児島連盟始良第二団の主な活動> 毎月2回程度、年間をとおして野営に必要なテント設営、ロープワーク等の訓練の他に募金や、清掃などの奉仕活動を行っている。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 10 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア	年間の活動回数
事務事業の概要と同じ			回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
日本ボーイスカウト鹿児島連盟始良第二団の団員		名称	
<補助金の交付先> 日本ボーイスカウト鹿児島連盟始良第二団		ア	団員数
<補助対象活動> 日本ボーイスカウト始良第2団の運営に要する経費		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・日本ボーイスカウト鹿児島連盟始良第二団が健全に運営される		名称	
・団員が健全に育成される		ア	自主財源率
		イ	健全に育成された団員数
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
霧島の豊かな自然環境の中で様々な体験活動ができる		名称	
		ア	体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	0	15	15	15		
		事業費計(A)	千円	0	15	15	15		
活動指標		ア	回		1	1	1		
対象指標		ア	人		5	5	5		
成果指標		ア	%		14	14	14		
		イ	人		5	5	5		
上位成果指標		ア	%		90	90	90		
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
日本ボーイスカウト鹿児島連盟始良第二団からの要望による。開始時期は合併前旧隼人町で平成10年頃。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
スポーツ少年団活動や塾、その他習い事等をしている子どもたちが増えてきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
日本ボーイスカウト鹿児島連盟始良第二団からの支援継続の要望がある。	

事務事業名	日本ボーイスカウト鹿児島連盟始良第二 団育成指導事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>					
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘		
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	運営費を助成することで、基本事業の意図である「霧島の豊かな自然環境の中で様々な体験活動ができる」ことに結び付く。			
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘		
なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	青少年育成団体を育成することは行政の役割であり、補助金を支出することは妥当である。				
<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘			
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	団員が健全に育成されるために補助するものであり、対象意図とも妥当である。				
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘		
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	団員数の拡大が見込めず、活動としても現状維持が精一杯である。			
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘		
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	団員数は横ばいであり拡大が見込めない。自主財源率も低く、補助がなくなれば活動費の捻出が困難になる。				
<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業)	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘			
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	類似する団体はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘				
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘		
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	団体の年間予算のほぼ5割程度が上部組織への登録料である。隊員も負担金を拠出しているが自主財源率はわずかに14%であり、これ以上の削減は、隊員の確保や活動自体に影響を及ぼす。			
<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘			
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	職員は補助金の申請受付及び交付、実績報告に係る事務が主であり、必要最低限の事務であることから削減の余地は無い。				
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘		
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	補助の対象がボーイスカウト始良第2団という限られた受益者ではあるが、清掃や募金等の奉仕活動をとおして、広く市へ還元されている。			

<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	補助金のほとんどが上部組織への登録料である現状から考えると、補助金の効果が出ているとはいえない。																								
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

No.	1240-030	事務事業名	夏休み・冬休み自然体験開催事業			所属部	教育部
						所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり			課長名	山下 修
	施策名	0 2	青少年の健全育成			所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	0 1	体験と学びを支援する環境づくり			電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠 特になし
	一般	1 0	0 6	0 2	153025	青少年健全育成事業	

<b>事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)</b>						<b>事業期間</b>	
小学校高学年から高校生を対象に、豊かな自然に触れさせ、共同生活と様々な体験をさせることによって、日常生活において不足しがちな自然とのふれあいや強調の大切さを学ばせるとともに、学校、年齢間を超えた子供たちの交流の場を提供する。 定員50名、2泊3日 平成19年度 夏～霧島市、冬～大分県九重町 平成20年度 夏～南さつま市、冬～大分県九重町 平成21年度 夏～南さつま市、冬～大分県九重町						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 18 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (          年度 ~          年度 )	

1 現状把握の部(DO)

<b>(1) 事務事業の目的と指標</b>		<b>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</b>	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動) 参加希望者を募り、2泊3日の自然体験を開催した。	⇒	ア 参加者数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 平成20年度に同じ		イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 小学5年～高校生	⇒	<b>対象指標(対象の大きさを表す指標)</b>	
		名称	単位
		ア 小学5・6年生、中学生、高校生数	人
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自然の豊かさ、行動生活のルールを学ばせ、異年齢との交流を図る	⇒	<b>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</b>	
		名称	単位
		ア 有意義と感じた参加者の数	人
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 霧島の豊かな自然環境の中で様々な体験活動ができる	⇒	<b>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</b>	
		名称	単位
		ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度	%
		イ	
		ウ	

<b>(2) 総事業費・指標等の推移</b>		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円		710	765	1,357	
		一般財源	千円	1,135	1,269	1,283	1,186	
		事業費計(A)	千円	1,135	1,979	2,048	2,543	
活動指標		ア 人	76	82	88	90		
対象指標		ア 人	13,073	12,887	12,769	12,059		
成果指標		ア 人	未把握	未把握	88	90		
上位成果指標		ア %	未把握	90	90	90		

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 市町村合併を契機に、青少年に自然に親しむ機会を与えるために開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 以前に比べ、子どもたちが自然と親しむ機会が減ってきている	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 保護者からは集団生活を経験したために生活態度が変わった等の声が寄せられている。	

事務事業名	夏休み・冬休み自然体験開催事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 次世代を担う子どもたちに、自然の大切さ、偉大さ、共同生活のルールを学ばせ、異年齢間の交流を図らせる			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 都市化が進む霧島市では、普段の遊びの中で自然と触れ合う機会が減少しており、教育の中で自然体験をする場を提供することが子どもたちの健全な育成にとって重要である			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 募集人員を拡大することにより、さらに多くの青少年の健全育成を図れる			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 参加可能人員を増やすことで、さらに多くの青少年の健全育成を図れる。参加人数が限られてしまい、広く体験機会を作ることができない。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 自然豊かな霧島市で育って良かったと思う若者が減少し、霧島市に対する愛着が薄れる			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 県立の研修施設等が行なう自然体験事業があるが、現地集合であり、交通手段を持たない子ども達は保護者の協力がなければ参加できない。			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は研修施設に必要な経費であり、削減した場合、より多くの受益者負担を求めることになり、子どもたちの参加に影響が出る			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 多くの子どもたちを安全に引率するための最小の人員で対応している。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 募集は市内小中学校を介して全ての対象児童・生徒にチラシを配布している。また、受益者からは宿泊代・食事代等の参加費を徴収しており、相応の受益者負担を求めている			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	より多くの児童生徒が参加できるよう、安全の確保に留意しながらプログラムの改善を図っていく。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> ・多くの児童生徒が参加できるプログラムの編成 ・広報、周知活動の徹底																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
・安全性の確保



No.	1240-040	事務事業名	市PTA育成指導事業				所 属 部	教育部		
							所 属 課	生涯学習課		
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課 長 名	山下 修		
	施策名	0 2	青少年の健全育成				所属G(係)	生涯学習G		
	基本事業名	0 1	体験と学びを支援する環境づくり				電 話 番 号	42-1118		
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠			
	一般	1	0	0	6	0	1	152090	その他社会教育総務費	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市内各小中高等学校PTAの連絡連携とPTA活動の振興発展を図るため、霧島市PTA連絡協議会の運営に要する経費を補助する。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
霧島市PTA連絡協議会に補助金を交付する。役員会等に出席し、指導助言を行う。霧島市PTA活動研究大会を教育委員会共催で開催する。		ア	補助金の額
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
霧島市PTA連絡協議会に補助金を交付する。役員会等に出席し、指導助言を行う。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
PTA会員		名称	
		単位	
		ア	PTA会員数
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
研修会等を開催し、教育効果の向上と学校と家庭の連携を図る。		名称	
		単位	
		ア	研修会等への参加者数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
児童生徒の教育環境の向上を図る		名称	
		単位	
		ア	体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,613	1,909	1,208	1,242		
		事業費計(A)	千円	1,613	1,909	1,208	1,242		
活動指標	ア	千円	1613	1,909	1,208	1,241			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	13,758	14,305	14,414	14,000			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	人	未把握	未把握	未把握	7,000			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	未把握	90	90	90			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
各学校PTA間の連携を図るため	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
合併により、旧1市6町のPTA連絡協議会が一本化され、平成18年度に霧島市PTA連絡協議会として発足した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特に無し	

事務事業名	市PTA育成指導事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	PTAへの補助金であり、現状を維持する。活動の内容等については、社会教育関係団体への指導助言をして今後も継続していく。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
<改革改善案> 今まで以上にPTA活動の果たす役割は大きくなるが、補助金の増額は困難である。今後も必要に応じて指導助言をし、支援していく。																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	1240-050	事務事業名	市子ども会育成連絡協議会運営支援事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	04	磨きあうまつづくり				課長名	山下 修
	施策名	02	青少年の健全育成				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	01	体験と学びを支援する環境づくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	一般	100601	152090	その他社会教育総務費	法令根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
子ども会活動の振興及び指導者の育成を図り、子どもたち自らが楽しい集団活動を通して心身の健やかな成長を促すために、霧島市子ども会育成連絡協議会の運営に要する経費を補助する。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (      年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 霧島市子ども会育成連絡協議会に補助金を交付する。団体に対し指導・助言を行う。		ア	補助金の額
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度に同じ		イ	
20年度に同じ		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
霧島市子ども会会員数		名称	
<補助金交付先>霧島市子ども会育成連絡協議会		ア	子ども会の数
<補助対象活動>団体の運営に関する経費		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
集団活動を通して仲間作り、鍛錬、挑戦し社会生活を営むための基本的態度や技術を身につけるとともに、心身の健やかな成長をする。		名称	
		ア	小学生の市子連加入率
		イ	中学生の市子連加入率
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
・霧島の豊かな自然環境の中で豊かな体験活動ができる。		名称	
		ア	体験活動プログラムに参加した児童・生徒の満足度
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	644	580	551	496		
		事業費計(A)	千円	644	580	551	496		
活動指標		ア 千円	644	580	551	496			
対象指標		ア 団体	309	304	304	304			
成果指標		ア %	90	88	91	90			
		イ %	33	30	30	30			
上位成果指標		ア %	実把握	90	90	90			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 社会教育法の制定後、各社会教育関係団体の育成、指導・助言が強く求められるようになった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併により、旧1市6町の子ども会育成連絡協議会が一本化され、平成18年度に霧島市子ども会育成連絡協議会として発足した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	市子ども会育成連絡協議会運営支援事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷		
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	霧島市子ども会育成連絡協議会の活動を支援する事で、次世代を担う青少年の健全育成を図る。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷		
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	霧島市子ども会育成連絡協議会の活動を支援する事で、子どもの体験と学びを支援する環境を作る事ができる。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷		
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	霧島市内子ども会を対象としている。			
効率性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷		
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	子ども会主催で各種事業が実施されている。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷		
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	子どもや保護者、地域住民同士のつながりが薄くなり、子どもの育成環境に影響がある。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷		
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷		
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	霧島市子ども会育成連絡協議会の事業で、市として削減余地はない。			
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷		
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	事務局が教育委員会内にあり、担当職員が大半の仕事を行ってきたが、今後も引き続き支援内容を精選する必要がある。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷		
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	霧島市子ども会育成連絡協議会は、単位子ども会育成会の集まりであり、市内全ての子ども会が対象である。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案>																										
(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											

No.	1240-060	事務事業名	市連合青年団運営支援事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	0 2	学習機会の充実				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	0 1	学習環境づくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1 0	0 6	0 1	152090	その他社会教育総務費	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
青年団の活性化を図り、様々な研修活動や地域活動を通して、青年の自己啓発やすやかな郷土づくりを進めるため、霧島市連合青年団の運営に要する経費を補助する。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (           年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (           年度 ~           年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 霧島市連合青年団に補助金を交付し、活動に対して指導助言を行なう。		ア	補助金の額
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 平成19年度と同じ		イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 青年団員		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 研修活動や地域活動を通して、郷土を思う心と実践力を培う。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	青年団員数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 地域に合わせた活動を行なう環境が整う。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	地域活動に参加した団員数
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,037	705	670	603	
		事業費計(A)	千円	1,037	705	670	603	
活動指標	ア	円	1,037	705	670	603		
対象指標	ア	人	60	75	55	55		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	人	57	70	50	50		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	未把握	90	90	90		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 社会教育法の制定後、各社会教育団体の育成・指導助言が強く求められるようになった	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併により、旧1市6町の青年団が一本化され、平成18年4月1日に霧島市連合青年団として発足した	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	市連合青年団運営支援事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 霧島市に居住する青年が郷土を思う心で活力あるふるさと霧島を創造していく。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 高齢化が進む現代において、青年が地元を離れていく傾向にある中で、地域のリーダーを育てることが必要である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 青年団の育成指導に限られている。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 地域で社会活動を行なっている青年が活躍できるような場を提供する。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 過疎化が進む霧島市において、青年の地域活動の活性化が求められている。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 青年団は急激な団員増加が見込めず、自主財源獲得が容易ではないため、削減の余地は無い。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 現在も最低限の人件費で運営している。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 市内全域の青年を対象にしているため公平公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	1240-070	事務事業名	青少年海外派遣事業				所属部	教育部			
							所属課	生涯学習課			
			政策名	0	4	育み磨きあるまちづくり		課長名	山下 修		
			施策名	0	2	青少年の健全育成		所属G(係)	生涯学習G		
政策体系	基本事業名		0	1	体験と学びを支援する環境づくり		電話番号	42-1118			
	予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠			
		一般	1	0	0	6	0	2	153025	青少年健全育成事業	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
青少年が意言語下の家庭で生活しながら、異文化と自文化を考え国際感覚を育成する。青少年を開発途上国に派遣し、青年海外協力隊の活動を体感し、国際性豊かな青少年を育成する。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 19 年度 ~ )	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
アメリカ合衆国 参加者 14名・ラオス 1名		ア	参加者
			人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
アメリカ合衆国 参加者 14名・ラオス 2名		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市内在住の中高生の参加申込者		名称	
		単位	
		ア	参加申込者
			人
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
青少年が異文化と自文化を考え体験することにより、国際性豊かな青少年を育成する。		名称	
		単位	
		ア	参加者
			%
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
本旨の国際交流に寄与する。 青少年の生きる力(技術・知識・文化等)を得る。		名称	
		単位	
		ア	体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度
			%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		2,142	3,561	3,150		
		事業費計(A)	千円	0	2,142	3,561	3,150		
活動指標		ア	人	10	15	0			
対象指標		ア	人	10	19	20			
成果指標		ア	%	100	100	100			
上位成果指標		ア	%	90	90	90			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
青少年が異文化と自文化を考え体験することにより、国際性豊かな青少年を育成する。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特になし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
本旨の国際交流に寄与する。 青少年の生きる力(技術・知識・文化等)を得る事業として参加者はもとより参加希望の本人・保護者からの継続希望がある。	

事務事業名	青少年海外派遣事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	青少年が国際感覚を身に付けることは、国際性豊かな青少年を育成することに非常に有効である。効率、公平性を図るための検討が必要。																			
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 上記2 - に記述したように、関係課と協議しながら、各関係国際交流協会へ要望している。																					



No.	1240-090	事務事業名	青少年地域体験活動開催事業				所属部	教育部
						所属課	生涯学習課	
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	0 2	青少年の健全育成				所属G(係)	生涯学習グループ
	基本事業名	0 1	体験と学びを支援する環境づくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1 0	0 6	0 2	153025	青少年健全育成事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
市内の小学3年生から中学生を対象に、7つの地区(旧市町)の特色ある自然環境や伝統文化を体験してもらう事業。各地区で行われる体験活動毎に募集を行っている。 ・実施時期 毎年5月～3月 ・参加費 活動に応じて実費負担 保護者が送迎できない子どもも参加できるようにするため、市内全地区に送迎バスを運行している。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 19 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 溝辺～版画・歴史探訪、国分～第一工業大学での実験、横川～山ヶ野金山めぐり、霧島～霧島神楽体験、牧園～みやまコンセールでのコンサート、霧島連山登山、福山～福山醸造所見学、隼人～初午祭参加		単位	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 霧島連山登山、絵付け体験、神楽体験、みかん狩り等		ア	参加者数(延べ人数)
		イ	参加者数(実人数)
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市内の小学3年生～中学生		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	小学3～6年生,中学生
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 青少年地域体験活動に参加してもらう		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	有意義と感じた参加者の割合
		イ	%
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 霧島の豊かな自然環境の中で様々な体験活動ができる		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度
		イ	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円		172	339	845	
		事業費計(A)	千円	0	172	339	845	
活動指標	ア	人		247	451	590		
	イ	人		237	354	472		
	ウ							
対象指標	ア	人	9,480	9,500	9,471			
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	%	未把握	433	560			
	イ			4.7	6			
	ウ							
上位成果指標	ア	%	90	90	90			
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成17年の合併を期に、各地区の特色ある自然環境や伝統文化を体験してもらい郷土愛を高めようと開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
参加した児童生徒からは、霧島市の自然や文化の素晴らしさを再認識したとの声が寄せられている。	

事務事業名	青少年地域体験活動開催事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	青少年地域体験活動に参加してもらうことで、霧島の豊かな自然環境の中で様々な体験活動ができることにつながる。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	青少年育成事業を行うことは行政の役割であり妥当である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	原則として児童生徒のみの参加としていることから小学校3年生以上を対象とした。
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	毎年度、各地区での事業について内容を精査し魅力的な事業を展開することにより、より多くの参加者が見込める。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
効率性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	行政で行う旧市町の自然や伝統文化を体験できる機会が失われる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	霧島市内全地区で定期的に体験できる事業は他には無い <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	講師謝金や消耗品、参加者の送迎に必要なバス代等必要最低限な経費であり削減できない。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	職員は事前の準備や当日の運営、引率を行っており、参加者の安全を期すために最低限必要な人員で対応しており、削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		参加者には事業に応じて受益者負担をいただいている。また、市内全地区を回る送迎バスを運行し、保護者が送迎できない子どもも参加できるように配慮している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	魅力的な事業を展開することにより、より多くの参加者が見込める。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 地区外の子供達も興味を持って、積極的に参加できる場所やイベントを精選する。																					
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 地区ごとの偏りを緩和するために、参加者の志向や地域の特性をリサーチする。

No.	1240-100	事務事業名	青少年方言標語コンテスト開催事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	0 2	青少年の健全育成				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	0 1	体験と学びを支援する環境づくり				電話番号	42-1118
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1 0	0 6	0 2	153015	青少年健全育成事業	特になし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
メディア等の発達により、共通語が日常語となり、方言が使われなくなりました。方言を知ることは、古くからの暮らしを伝承し、未来に繋いでいくことであり、生活の中で必要である。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 19 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標													
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
20年度実績(20年度に行った主な活動) 小学4年生～中学3年生を対象としたに方言による標語コンテストを実施する	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>申込者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	申込者数	人	イ			ウ		
名称		単位											
ア	申込者数	人											
イ													
ウ													
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 19年度と同じ	⇒												
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 小学4年生～中学3年生	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>小学4年生～中学3年生</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	小学4年生～中学3年生	人	イ			ウ		
名称		単位											
ア	小学4年生～中学3年生	人											
イ													
ウ													
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 方言を使い標語をつくることにより、親、祖父母、近隣の高齢者から知恵や昔の生活や環境を知ることができる。また、家族等の連帯も深まる。	⇒												
結果(どんな結果に結び付けるのか) 青少年が学校・地域・家庭に興味や関心を持ち、社会を見つめる機会となる	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>申込者とその保護者等</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	申込者とその保護者等	人	イ			ウ		
名称		単位											
ア	申込者とその保護者等	人											
イ													
ウ													
	⇒												
	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度	%	イ			ウ		
名称		単位											
ア	体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度	%											
イ													
ウ													

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		278	191	248		
	事業費計(A)	千円	0	278	191	248			
活動指標	ア	人		1,265	600	1,000			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人		8,178	8,094	8,078			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	人		未把握	1,740	2,900			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%		90	90	90			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 市長マニフェストによる。平成19年度開始
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 特になし
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 学校での取組みも積極的なことから継続の要望がある。

事務事業名	青少年方言標語コンテスト開催事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 鹿児島弁を理解し、まちづくり(コミュニティ)に参加してもらう	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 地域の文化としての鹿児島弁を絶やさないよう、日頃の生活でも活用するためのきっかけとする。	
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? コンテスト形式では、鹿児島弁を使うことの少ない若年層には困難である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 作品応募でなく、鹿児島弁講座的なものを実施できないか。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 日頃活用の機会が少なくなり、鹿児島弁が理解できなくなる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 優秀作品の表彰に使う報償費を講師謝金等に充てて学習会に変更する。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) コンテストに係る業務時間と、学習会としたときと比較した場合、同等の業務時間で、成果向上が期待できる。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 市内各学校をとおして、公募としている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	鹿児島弁の継承は大切なことなので、もう少し有効な手段を用いて継続する。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 日頃、鹿児島弁を使うことの少ない若年層や、県外からの転入者にも理解できるようにする。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 県外からの転入者にも、鹿児島弁への関心を持ってもらい、理解してもらうために学習の機会を設ける。																						

No.	1240-110	事務事業名	日韓親善子供大使友好の翼実行委員会活動支援事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	02	青少年の健全育成				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	01	体験と学びを支援する環境づくり				電話番号	42-1118
予算科目	会計	一般	100602	153025	事業名	社会教育法第5条第1項第12号(青少年への体験活動の実施)		
	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 同法第11条第2項(社会教育団体への援助)		

**事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)**

日韓親善子供大使友好の翼実行委員会に補助金を交付し、当実行委員会が行う韓国への派遣事業の活動を支援している。(市の活動)日韓親善子供大使友好の翼実行委員会に運営するための手続き等(運営、申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。(実行委員会の活動)韓国語研修会、韓国釜山市ペーヨン初等学校への派遣、同校児童並びに引率の受け入れ活動、霧島市溝辺地区小学校での学校交流活動  
 \*日韓親善子供大使友好の翼実行委員会とは、青少年の健全育成のための国際理解の推進を目的として設立した団体。教育委員会溝辺出張所を事務局として、溝辺地区の小学校、PTA、子供大使保護者、みぞべ西郷どん交流館、培英初等学校と交流する会を会員として運営している団体である。

**事業期間**

単年度のみ  
 単年度繰返 (H 3年度~)  
 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)

**1 現状把握の部(DO)**

<b>(1) 事務事業の目的と目標</b>		<b>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</b>	
<b>手段(主な活動)</b>		<b>名称</b>	
<b>20年度実績(20年度に行った主な活動)</b>		<b>単位</b>	
12月25日から27日に、子供大使12名、引率6名の合計18名が訪問し、1月30日から2月2日に、韓国児童13名、引率7名の合計20名が来日された。両日程とも、2日目に学校交流会を開催した。		ア	補助した団体の活動数
<b>21年度計画(21年度に計画している主な活動)</b>		イ	補助した団体活動の活動規模(子供大使参加者)
子供大使募集を霧島市内全域として、国際交流を行う。訪問 8月24日~27日、受入1月28日~31日		ウ	補助した団体活動の活動規模(交流に要した日数)
<b>対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等</b>		<b>対象指標(対象の大きさを表す指標)</b>	
霧島市小学5,6年生		<b>名称</b>	
<補助金交付先>日韓親善子供大使友好の翼実行委員会		<b>単位</b>	
<補助対象活動>日韓親善子供大使友好の翼実行委員会の運営に要する経費		ア	参加希望者数
実行委員会運営費、研修会、派遣事業、受入事業		イ	参加決定者数
		ウ	霧島市小学5,6年生数
<b>意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)</b>		<b>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</b>	
日本、霧島の良さについて、再認識するとともに、隣国韓国について理解を深める。日本と韓国の文化自然習慣等を比較し、他の国を理解受容できる国際感覚を身につける。		<b>名称</b>	
		<b>単位</b>	
		ア	事業の満足度
		イ	国際理解が身に付いたと感じる割合
		ウ	
<b>結果(どんな結果に結び付けるのか)</b>		<b>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</b>	
霧島の豊かな自然環境の中で様々な体験活動ができる。国際感覚豊かな次代を担う人材の育成。霧島市の事業等に積極的に参画する社会貢献できる人材の育成。		<b>名称</b>	
		<b>単位</b>	
		ア	体験プログラムに参加した児童生徒の満足度
		イ	
		ウ	

<b>(2) 総事業費・指標等の推移</b>		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円			
		国庫支出金	千円			
		都道府県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
	一般財源	千円	1,917	1,295	1,110	1,800
	事業費計(A)	千円	1,917	1,295	1,110	1,800
活動指標	ア	事業	3	3	3	3
	イ	人	11	8	12	12
	ウ	日	11	15	15	15
対象指標	ア	人	11	8	12	12
	イ	人	11	8	12	12
	ウ	人	197	171	2,747	2,758
成果指標	ア	%	100	100	100	100
	イ	%	100	100	100	100
	ウ	%				
上位成果指標	ア	%		90	90	90
	イ	%				
	ウ	%				

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

**この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?**  
 平成3年に旧溝辺町にて陵南小学校が、国際空港が近くにある大韓民国釜山広域市培英初等学校との間で、絵画交流を行なったことがきっかけとなり、平成4年には子供大使3名を、溝辺町教育長をはじめとした訪問団が、培英初等学校を訪問した。

**事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?**  
 国際理解能力を身につける国際交流が重要視され、隣国の大韓民国との交流は特に重要なものとされている。行政間の交流よりも民間の交流活動を重視する動きがある。合併後は、教育長や企画部長も日本での交流に参加し、また、実施主体を西郷どん交流館等民間団体に移行する動きもある。

**この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?**  
 旧溝辺町のみでの交流なので、市民にはまだ認識不足と思われる。H18年度は霧島市広報誌に陵南小学校の取り組みとして掲載されたが、反応は余りなかった。溝辺地区の住民の中では、補助金を使い、これまでと同じように溝辺地区の小学5,6年生を対象にしてほしいという意見があるが、他の事業と同様に参加対象者を市へと広げる等改善を図ることも求められている。

事務事業名	日韓親善子供大使友好の翼実行委員会 活動支援事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課																										
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?																													
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?																													
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																													
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流協会支援事業との統合または連帯 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																													
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)																													
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)																													
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?																													
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		青少年健全育成事業として、溝辺地区小学5,6年生ならびに溝辺小学校児童に、国際理解を深めることができた。交流相手方の意向により訪問児童を溝辺地区に限定していたが、平成20年度から募集の対象を全市へ広げることができた。また、費用についても改善できた。今後は、関係団体と連携して民間交流として活性化させる課題がある。																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																												
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
<改革改善案> 平成20年度から、子供大使参加者は霧島市内小学5,6年生を対象とし、費用については交流相手方と同等にする。交流相手方は釜山広域市からの補助がないが、霧島市の民間交流としては、補助金がないと派遣はできないので、今後は、この交流きっかけとなったみぞべ西郷どん交流館(霧島市国際交流協会加盟団体)が主体となって、事業を運営し、教育委員会は下支えをし、民間交流を展開していただく。																															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 みぞべ西郷どん交流館が、この事業に主体性を持ち、運営していく意向があるか確認し、当面、霧島市教育委員会としては、この事業運営の支援を行う。全市を対象を広げるので、窓口は本庁とし、溝辺出張所が支援する。																															

No.	1240-120	事務事業名	わんぱく！きりしまっ子冒険塾事業				所 属 部	教育部					
							所 属 課	生涯学習課					
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課 長 名	山下 修					
	施策名	0 2	青少年の健全育成				所 属 G (係)	生涯学習 G					
	基本事業名	0 1	体験と学びを支援する環境づくり				電 話 番 号	42-1111					
予算科目	会計	一般	1	0	0	6	0	2	153025	事業名	青少年健全育成	法令根拠	社会教育法第20条 22条

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										事業期間	
霧島市内の小4～高校生を対象に、年間10回様々な体験活動を実施。全10回を通して同じメンバーで活動することにより、仲間作りやリーダー育成も目的の一つである。高等教育機関との連携事業として、志学館大学の学生が指導するキャンプ活動や、鹿児島高専の工業技術講座も行っている。 平成21年度からは、										<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 1 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標																	
手段(主な活動)																	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 開講式、さつま芋栽培・収穫、志学館大学生とのキャンプ活動、鹿児島高専講座、防災キャンプ、鬼火焚き、初午祭、地球温暖化を考える講座、閉講式																	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 開講式、鹿児島高専講座、志学館大学生とのキャンプ活動、リーダー養成短期集中講座、閉講式																	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 霧島市内小学4年生～高校生 (平成21年度は小学5年生～中学2年生)																	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 参加者が、心豊かで健全なリーダーとしての自覚に目覚める。																	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 霧島の豊かな自然の中で様々な体験活動ができる																	
活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 実施回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										名称	単位	ア 実施回数	回	イ		ウ	
名称	単位																
ア 実施回数	回																
イ																	
ウ																	
対象指標(対象の大きさを表す指標)																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 小学4年生～高校生</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										名称	単位	ア 小学4年生～高校生	人	イ		ウ	
名称	単位																
ア 小学4年生～高校生	人																
イ																	
ウ																	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										名称	単位	ア 参加者数	人	イ		ウ	
名称	単位																
ア 参加者数	人																
イ																	
ウ																	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										名称	単位	ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度	%	イ		ウ	
名称	単位																
ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度	%																
イ																	
ウ																	

(2) 総事業費・指標等の推移										
投入量	事業内訳	財源内訳	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
		国庫支出金 千円 都道府県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計(A) 千円		732	634	446	630			
活動指標	ア	回		10	9	10	3			
対象指標	ア	人		13,073	12,887	12,769	3,510			
成果指標	ア	人		98	88	133	19			
上位成果指標	ア	%		未把握	90	90	90			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等									
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 現代の青少年にとって、異年齢での自然体験活動が不足している。次代を担う青少年が健全に成長し、ふるさとのよさを再確認する目的で平成元年から開始された。									
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 5年前と比較して、児童・生徒が市内全域から参加するようになった。									
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 参加者の保護者から活動を継続するよう要望があった。									

事務事業名	わんぱく！きりしまっ子冒険塾事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 市内全域から集まった参加者が、異年齢での活動を通して、次代を担う健全な青少年を育成を図る。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 他校の児童・生徒との交流と体験は、次代を担う青少年の育成は、市の役割である。			
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 現在小学4～高校生を対象としているが、参加申込者が非常に多く、施設の定員や安全性から、再考する必要がある。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 参加者の意識の向上が確認できている。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 対象者の他校及び異年齢での活動の場がなくなる。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 他に類似の事業がない。			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 現在でも、地域住民や他の行政機関の協力を頂いており、これ以上の削減余地はない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 休日を活用する事業であり、削減できない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 対象者全員に、案内チラシを配布し、参加希望者は全員受け入れている。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	徐々に応募者も多くなり周知されてきた事業である。プログラムの内容により学年制限を再考して行く必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 参加対象の学年を、プログラム内容により幅を持たせる。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
参加者の安全性の確保



No.	1240-320	事務事業名	きりしまふるさと学寮	所属部	霧島出張所
				所属課	教育振興課
政策体系	政策名	0 4	育み磨き合うまちづくり	課長名	福森 茂樹
	施策名	0 2	青少年の健全育成	所属係(G)	教育グループ
	基本事業名	0 1	体験と学びを支援する環境づくり	電話番号	57-1111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令	根拠		
	一般	1	0	0	6	0	2	153025	青少年健全育成事業	なし

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
霧島地区の青少年育成団体を中心とした地域の各種団体が連携を図り、現在の子どもたちに欠けている「我慢する心」や「不自由に耐える心」「失敗に耐える体」を培うことを目的に、児童・生徒が家庭を離れ、異年齢集団で生活することにより、自立性や忍耐力、協調性、他者への思いやりの心や、自分の成長や生活を支えている親や校区の人々に対して感謝の心を育てる。 募集対象を小学4年生から中学3年生までとし、3泊4日、霧島公民館で実施する。 参加費は1,500円。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 14 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
20年度実績(20年度に行った主な活動) 生活体験や自然体験活動を行う。主な活動は、霧島神楽の練習風景を見学、そらめん流しと救急非常食作り、星空観測、グループによる夕食買い出し。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 開催回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ 事業参加者</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 開催回数	回	イ 事業参加者	人	ウ	
名称	単位								
ア 開催回数	回								
イ 事業参加者	人								
ウ									
21年度計画(21年度に計画している主な活動)									
20年度に同じ									
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	対象指標(対象の大きさを表す指標)								
霧島地区に在住する、集団生活に支障のない児童生徒(小4~中3)	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 霧島地区小学4年~中学3年の人数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 霧島地区小学4年~中学3年の人数	人	イ		ウ	
名称	単位								
ア 霧島地区小学4年~中学3年の人数	人								
イ									
ウ									
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
きりしまふるさと学寮に参加してもらう	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア また参加したいと答えた参加者の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ 学寮後の日常生活において変容の見られた割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア また参加したいと答えた参加者の割合	%	イ 学寮後の日常生活において変容の見られた割合	%	ウ	
名称	単位								
ア また参加したいと答えた参加者の割合	%								
イ 学寮後の日常生活において変容の見られた割合	%								
ウ									
結果(どんな結果に結び付けるのか)	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)								
霧島の豊かな自然環境の中で様々な体験活動ができる。	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度	%	イ		ウ	
名称	単位								
ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度	%								
イ									
ウ									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		110	0	40		
		事業費計(A)	千円	0	110	0	40		
活動指標	ア 回			1	1	1			
	イ 人			23	34	32			
	ウ								
対象指標	ア 人			309	286	265			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア %			100	100	100			
	イ %			57	60	60			
	ウ								
上位成果指標	ア %			90	90	90			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成14年から3年間、旧霧島町で実施。青少年育成事業の中で異年齢集団で宿泊体験(通学学舎)活動を始めた。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
対象児童生徒の要望が多様化した。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
参加児童の感想として、特に母親の家事に関する大変さが良く分かり、親に対する感謝の気持ちが多数寄せられている。

事務事業名	きりしまふるさと学寮	所属部	霧島出張所	所属課	教育振興課
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>					
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷		
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	ふるさと学寮を実施することにより、心豊かな人間性を培い、青少年健全育成につながる。			
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷		
なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	青少年育成事業を行うことは行政の役割であり妥当であり、補助金を支出することは妥当である。				
<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷			
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	地域の子供達が健全に育成されるために補助するものであり、対象意図とも妥当である。				
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷		
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	地域に暮らす子供達は減少傾向にあり、活動としても現状維持が精一杯である。			
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷		
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	ふるさと学寮は、貴重な異年齢での集団生活体験の一つであるが、他にも様々な体験活動プログラムがある。				
<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業)	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷			
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	類似する事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷				
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷		
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	地元住民の協力により適正に活動している。			
<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷			
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	職員は補助金の申請受付及び交付、実績報告に係る事務が主であり、必要最低限の事務であることから削減の余地は無い。				
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷		
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	霧島地区に限定されている。			

<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	ふるさと学寮は、子どもの成長に大変有意義なものではあるが、対象が霧島地区に限定されていることから、不公平感があり、今後地域単位の自主的な事業実施が必要であると考えられる。																							
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

No.	110-050	事務事業名	あいさつ運動推進事業	所属部	総務部
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり	所属課	総務課
	施策名	0 2	青少年の健全育成	課長名	宗像 成昭
	基本事業名	0 2	青少年の非行防止のための環境づくり	所属G(係)	市民運動推進室
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
道義高揚運動が始まって以来、家庭・地域・学校の連携のもと、あいさつ運動に取り組んでおり、各校区単位でのあいさつ運動が盛り上がってきている。各校区では、愛のパトロール活動、登下校時のあいさつや声かけ運動など幅広い活動を展開し、青少年の非行防止や抑止効果に役立っている。 また、平成16年度から、希望する校区を対象にモデル事業を導入し、積極的な取り組みを進めてもらっている。モデル校区には、活動に必要な腕章や旗などの購入費用を助成している。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 44 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア モデル校区	校区
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ あいさつ運動の推進校区	校区
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	校区青少年育成連絡会(各学校にできるよう推進している。)	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	家庭・地域・学校の3者連携であいさつ運動に取り組み、青少年の非行防止や抑止効果を生む。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	社会のルールを身につけ、守る。 非行をさせない環境をつくる(環境となる)。	ア 市内各小・中学校の数	校
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 事業を実施した校区の割合	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 青少年が他人に迷惑をかけるという行動が以前に比べて減ったと考える市民の割合	%
		イ 青少年の健全育成にとって市内が望ましい環境となっていると考える市民の割合	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	600	600	700	700	
	事業費計(A)	千円	600	600	700	700		
活動指標	ア 校区		12	12	14	14		
	イ 校区		17	20	20	27		
	ウ							
対象指標	ア 校		46	46	46	46		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア %		39.9	43.4	43.4	58.7		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %		28.1	12.3	15.6	14.0		
	イ %		16.6	22.0	24.6	24.0		
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
旧国分市で昭和44年に道義高揚運動を開始以来、温かい人間関係をつくるため、あいさつ運動を展開しており、平成11年度からは、家庭・地域・学校の3者連携による運動となった。平成16年度からは、モデル校区を定め、モデル事業としてあいさつ運動を展開しており、平成18年度からは、新市の校区を対象としている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
青少年を取り巻く環境は日々悪化している。これに伴い、あいさつ運動も愛のパトロール隊の設置や登校時の声掛けなど変化している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
あいさつ運動モデル校区の指定を受けたことにより、防犯パトロール隊の結成やあいさつ標語コンクールの実施ができたこと、実施校区からは喜ばれている。	

事務事業名	あいさつ運動推進事業	所属部	総務部	所属課	総務課																				
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																									
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																							
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																							
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																							
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																							
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																							
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																							
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																							
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																							
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																							
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		あいさつ運動を3者により推進することは、青少年の非行防止や抑止効果を生むとともに子どもたちが犯罪に遭遇することを防ぐ効果があり、全学校へ推進を呼びかけていきたい。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

政策体系	No.	110-070	事務事業名	地域で育てる青少年健全育成事業	所 属 部	総務部
	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり	所 属 課	総務課	
	施策名	0 2	青少年の健全育成	課 長 名	宗像成昭	
	基本事業名	0 2	青少年の非行防止のための環境づくり	所 属 G ( 係 )	市民運動推進室	
				電 話 番 号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費	根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
「自分の校区に住む青少年は、校区で責任を持って育成する」という考えから各小・中学校区に校区青少年健全育成連絡会を設置し、地域の特性を活かした青少年の健全育成事業を展開することにより、地域ぐるみによる青少年健全育成の環境作りを行う事業。校区青少年健全育成連絡会の設置(市内校区に設置し、校区内の青少年健全育成を推進する団体の役員がメンバーとなり、青少年の健全育成について協議を行うとともに補導や声かけ運動など実践活動を行う。)霧島市青少年健全育成支部会議の設置(旧3町に設置し、地域の代表者がメンバーとなり、地域性をもった青少年健全育成を推進している。)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 11 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
各小・中学校区青少年健全育成に関する連絡会への指導・助言・経費の助成 霧島市青少年健全育成に関する支部会議への経費の助成		ア	校区青少年育成連絡会の設置数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	支部会議の設置数
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市内小・中学校 市青少年健全育成支部会議		名称	
		単位	
		ア	市内の小・中学校の数
		イ	市内の支部会議の数
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
青少年健全育成連絡会が設置される。 市青少年健全育成支部会議が設置される。		名称	
		単位	
		ア	設置した校区の割合
		イ	設置した支部の割合
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
社会のルールを身につけ、守る。 非行をさせない環境をつくる(環境となる)。		名称	
		単位	
		ア	青少年が他人に迷惑をかけるという行動が以前に比べて減ったと考える市民の割合
		イ	青少年の健全育成にとって市民が望ましい環境となっていると考える市民の割合
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	660	590	475	995		
		事業費計(A)	千円	660	590	475	995		
活動指標		ア 校	24	27	25	33			
		イ 地区	3	3	1	5			
		ウ							
対象指標		ア 校	46	46	46	46			
		イ 地区	6	6	6	6			
		ウ							
成果指標		ア %	52.2	58.7	54.3	71.7			
		イ %	50.0	50.0	16.7	83.3			
		ウ							
上位成果指標		ア %	28.1	12.3	15.6	14.0			
		イ %	16.6	22.0	24.6	24.0			
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
21世紀を担う青少年を心豊かでたくましく育成するため、地域ぐるみで青少年健全育成に取り組みこととし、各小・中学校区への校区青少年健全育成連絡会の設置を平成11年度から旧国分市で開始した。また、合併に伴い、平成18年度から旧6町に青少年健全育成を検討する支部会議の設置を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
青少年を取り巻く環境は、治安の悪化や有害図書等の氾濫など、放置できない状況にあるが、校区の青少年育成連絡会や青少年健全育成支部会議が活動することにより、地区民の意識の高揚に役立ち、防犯パトロール隊の発足や有害図書自動販売機追放運動にもつながっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
学校・家庭・地域が連携し、校区に住む子どもたちを責任をもって育成することができるようになったとの地区民からの意見がある。校区青少年育成連絡会を開催できない学校の先生方からは、類似する会議が多すぎて開催できないとの意見がある。	

事務事業名	地域で育てる青少年健全育成事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	未設置の地域・学校に青少年支部会議及び校区青少年健全育成連絡会の設置を急ぐべきである。																		
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 新しく支部会議や連絡会を設けることについて、理解を得られない。粘り強く設置に向け協議していきたい。																			

No.	1240-130	事務事業名	校外生活指導連絡会支援事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	0 2	青少年の健全育成				所属G(係)	生涯学習G
	基本事業名	0 2	青少年の非行防止のための環境づくり				電話番号	42-1118

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1	0	0	6	0		1

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市校外生活指導連絡会の運営補助として補助金を交付している。連絡会の活動～児童生徒の健全な育成を図るため、霧島市PTA連絡協議会、霧島市子ども会育成連絡協議会、および、霧島市生活指導研究協議会が協力提携し、校外における生活指導を充実する。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 17 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
校外生活指導連絡会総会の開催、地区別校外生活指導連絡会の開催(3回)		ア	連絡会の開催
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
20年度に同じ		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
校外生活指導連絡会構成員		名称	
		単位	
		ア	校外生活指導連絡会の構成員数
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・校外生活指導連絡会運営の健全化を図る。		名称	
・校外における生活指導を充実する。		単位	
		ア	自主財源率
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
青少年の健全育成		名称	
		単位	
		ア	青少年が社会のルールを守っていると考える市民の割合
		イ	青少年の健全育成にとって市内が望ましい環境となっていると考える市民の割合
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	409	369	350	315		
		事業費計(A)	千円	409	369	350	315		
活動指標		ア	回	5	5	5	5		
対象指標		ア	人	18	18	18	18		
成果指標		ア	%	49	52	54	55		
上位成果指標		ア	%	28.1	12.3	15.6	34.0		
		イ	%	16.6	22.0	24.6	24.0		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成17年の市町村合併により霧島市として「校外生活指導連絡会」の組織を整備した。17年度は旧自治体の組織で暫定的に活動し、平成18年度より、各種団体が霧島市に一本化されたのを受け、「霧島市校外生活指導連絡会」として発足した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
市町合併に伴い、新市の校外における青少年健全育成のための組織として、情報・意見交換等に役立っている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
児童生徒の商店等への出入りを明確化してほしい。	

事務事業名	校外生活指導連絡会支援事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>					
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	年3回の全体会をとおりて、会員間での情報交換、共有がなされ、適正に活動している。																								
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										



No.	1240-140	事務事業名	青少年育成センター運営事業				所属部	教育部
							所属課	生涯学習課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	山下 修
	施策名	02	青少年の健全育成				所属G(係)	生涯学習グループ
	基本事業名	02	青少年の非行防止のための環境づくり				電話番号	42-1111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし
	一般	10	06	01	153025	青少年健全育成事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
青少年育成センターは、日常の街頭指導活動や青少年の相談電話等の青少年に直接接する活動と、青少年を取り巻く有害環境の浄化活動等の間接的な活動があり、青少年健全育成の気運を高めていくことを目的としている。 補導員 国分地区5名, 単人地区3名, 8名 補導委員 学校籍64名, 地区有識者20名, 計84名		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (   年度~   年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア	定期補導回数
定期街頭補導活動~補導員, 補導委員, 育成センター指導員が月に2~3回, 6つのコースを巡回指導した。			回
巡回指導~育成センター指導員が区内を巡回		イ	巡回指導回数
相談活動~育成センター相談員による相談活動			回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ウ	相談回数
定期街頭補導活動, 巡回指導, 相談活動			回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
青少年		名称	
青少年の健全育成に悪影響を及ぼす可能性のある商品を陳列している店舗		ア	青少年数
		イ	悪影響店舗数
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
街頭補導による青少年の初発型非行の防止や環境浄化		名称	
		ア	指導を受けた未成年者数
		イ	人
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
社会のルールを身につけ、守る		名称	
非行をさせない環境をつくる		ア	青少年が社会のルールを守っていると考える市民の割合
		イ	青少年の健全育成にとって市内が望ましい環境となっていると考える市民の割合
		ウ	%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	7,089	8,418	6,785	7,352	
		事業費計(A)	千円	7,089	8,418	6,785	7,352	
活動指標		ア	回	75	63	295	250	
		イ	回	56	80	137	130	
		ウ	回	119	201	174	150	
対象指標		ア	人	17,134	16,903	18,441	16,695	
		イ	軒	133	133	111	111	
		ウ						
成果指標		ア	人	213	150	157	120	
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア	%	28.1	12.3	15.6	34.0	
		イ	%	16.6	22.0	24.6	24.0	
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
特になし	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特になし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	青少年育成センター運営事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 青少年の非行防止のための環境づくりにおおいに寄与している。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 街頭補導や巡回指導、相談活動等、行政対応の事業と考えられる。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 教育的な配慮から考慮すれば、対象は現行で適切である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 商店等、青少年を対象とした民間事業者積極的に協力してもらうことで成果向上の余地があると考えられる。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 青少年の健全育成に携わるセンターが他になく、行政として青少年育成に直接関わる部署が存在しなくなる。そのため、情報の収集、関係機関・部署との連携が図れなくなる。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業が見当たらない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 現状以上の成果を望むためには、削減の余地はない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 正職員以外の職員に委託しており、現在より削減余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 市内の青少年全員に係る事業であり、公平・公正である。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	積極的な広報・周知を図り、年々相談事業など増加の傾向にある。また、青少年の健全育成におおいに寄与していると考えられる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 関係の民間企業等にセンターの活動を周知させる。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
・指導員、相談員の資質の向上。